

月刊 2004 vol.9
3月1日発行



江戸川区議会議員
田中 けん

Monthly of
News
TANAKA Ken

弁護士による
無料法律相談を受付中
ご連絡は裏面に掲載している田中けん事務所まで。

田中けんの
実績

田中けんが求めた 駅前の灰皿撤去が実現しました。

Sinozaki



↑篠崎駅北口前の灰皿撤去前



↑篠崎駅北口前の灰皿が撤去された様子

一般質問(2ページ参照)による区長答弁を受け、各部署に確認の連絡を入れました。

土木部保全課には、未だ残る篠崎駅前の灰皿について報告しました。すると、保全課は自らの見落としを認め、すぐに灰皿撤去に動きました。

環境防災部環境推進課に確認したところ、一般質問を受け、改めて各鉄道事業者に対して、駅前の灰皿撤去を徹底するよう要請したそうです。

平井・瑞江など、未だ残る灰皿については、早期に撤去されるよう注目し続けてゆきます。

Hirai



↑平井駅南口にある灰皿

←平井駅北口にある灰皿

Mizue



←瑞江駅北口前にある空き缶



禁煙派の区民の皆様へお願いします。
是非、JR平井駅へ電話をして、灰皿の撤去をお願いしてください。
(TEL 03-3681-0222まで)

さかいゆき墨田区議会議員の 新春の集いに出席しました。

2004年1月11日(日)13時から行われたさかいゆきさんの新春の集いは、去年の4月に当選した新人議員でありながら、100名を超える立派なパーティでした。さすが2位当選した議員は、集客力が違うと感心しました。
(写真は、集会が終わった後に、二人で壇上に登って撮った時のものです)

堺井ゆき新春のつどい





Regular
Ward Assembly

「一人の会 田中けん」が 一般質問を行いました。

区議会定例会
2003年12月2日

※本文と丸付き数字は、一人の会 田中けんの質問内容の要約、■は区長答弁の要約です。



人口問題

江戸川区の人口は、実に、年平均7500人(8年間で6万人)ほどの人口が増え続けています。少なくとも成熟した都市にとって、人口が増えることは「発展」を意味しません。過密は都市機能の低下を招き、住民は住み難さに身をさらすのです。

なぜこのようになってしまったのか。人口が増えることによって、かえって住環境が悪化するという危機意識が、行政に欠けていたことが原因なのです。

今、議会で一番問題となっている区内犯罪の増加・駅前の駐車駐輪問題・保育園に預けられない待機児増加の問題、何れも、人口の増加が原因であります。

私が言う適正人口論の発想は、限られた行政施設や人員を有効かつ上手に使いこなすためには、何人の区民を相手にすることが、行政サービスをする上で適切なのかという視点を持つことです。

私の質問を通じて、区長が少しでも、人口問題について、過密が重大な都市問題なのだという認識を持っていただけるよう期待して、以下の項目を質問します。

①専門家の人口予測では、2006年あたりをピークに日本全体の人口は減り続けるとの予想をしているが、区長も同じような認識か。

②2100年には、多くて6000万人、少なくとも3000万人に日本の人口が減るとの予測に対して、区長の認識は同じか。

■1・2点目は、科学的な解析で、信用していいと思っております。

③長期計画の中では、2020年に、江戸川区の人口が70万人を超えるとされているが、中長期的には日本の人口が減って行くとの予測があるにもかかわらず、江戸川区だけが人口増の予測をしていることに、不思議だとか、おかしいなどの思いはないのか。

■長期構想を策定するにあたり、野村総研に人口予測の解析を依頼し、東京都はやや増えるとの予測で、江戸川区も増えるということであります。

④江戸川区が70万人都市を実現し、更なる人口増を容認するならば、東京一極集中は、より激しくなり、過密によって引き起こされる区内の諸問題は、その深刻さを増すが、この現象を「国土の均等ある多極分散型利用」という命題に照らし合わせて、区長はどのように考えるのか。

■大方の見解は、都市に集中することによって過疎は地方に起きるだろうと予測されておりますことから、長期的にみて東京の人口減少は急激に起きないということが想定されます。

⑤日本全体の人口が減るのだから、区内の人口も減ったとしたら、区長はそれを発展ではなく、衰退と認識するのか。そもそも人口が増えることは良いことで、人口が減ることは悪いことだという単純な認識が、区長にはないか。

■人口が増えることは、いい面とマイナス面と両方あり、いい面をよりよく活用することが望ましく、マイナス面をなるべく抑えこむことが一つの政策になるかと思っております。

⑥江戸川区の人口が減ったとき、今まで無秩序に建設を認めてきた集合住宅を中心とする「家」は、相当数空き家になる可能性がある。この問題について、どのように考えるのか。

■空き家の問題に対しては、二十年間は減らないというデータがあり、一応これを信用したいと思っております。

⑦今からでも、安易に人口を呼び込まない、徹底した住宅建設における行政介入が必要なのだと、私は思うが、区長はそれについてどのように考えるのか。

■住宅建設への行政介入ですが、ご案内のようにそんなに簡単に出来るものではありません。用途地域などの、規制を考えたとしても、本当にとどめるには役に立たないということになるかと思っております。

⑧今後は「人口が増えて、江戸川区は発展している」という「決まり文句」を、公の場所で安易にお使いにならない方が良いと思うが、区長の見解は。

■人口増を発展と考えているかどうかについては、我々は発展した江戸川区に、人々が魅力を感じてくださっているということは、大いに多としているわけでありまして。



禁煙問題

次に、禁煙問題について、私は今年の秋にかけて、福岡、仙台と個人視察をしてきました。(※注1) 福岡には歩行喫煙を禁止する条例があり、仙台でもアーケードの商店街には、歩行喫煙を止めるように呼びかける横断幕が各地で見受けられました。

前回の私の質問に対して、区長は条例制定を考えていないとの見解を示されましたが、そろそろ総合的なタバコ問題解決にむけた取り組みを検討すべき時期に来ているはずですよ。

また、最近気になる具体的な事例としては、駅前の歩行喫煙があります。船堀駅前の灰皿は、つい最近撤去されましたが、今でも私が確認した限りでは、平井・瑞江駅前には灰皿があります。行政としては、各鉄道事業者に対して、駅前の灰皿を撤去するよう働きかけをすべきかと思いますが、区長の見解をお聞かせください。

■たばこについて、東京都は自前の灰皿を全て外しており、営団も外しております。JR平井駅などは残っているようですが、今後撤去されることになるのではないかと考えております。(※注2)

区は、バス停については都営のバス停も京成のバス停も全て撤去しております。公共施設においても、灰皿の撤去が、一般化されると考えております。(※注3)

健康部を中心に、公共施設のみならず、民間の方々にも強い指導力をもって、このような運動をすべきではないかと思っており、そういった取り組みを行っているところであります。

※注1 個人視察の内容は、月刊田中けんVol. 6に掲載いたしました。バックナンバーはホームページ上からもご覧いただけます。

※注2 JR平井駅に関しては、今年の3月一杯で、駅前灰皿を撤去するか、しないかを区長判断により決定するそうです。

※注3 灰皿の撤去は、田中けんの実績として、一面に掲載されています。





コンビニに行くと「サブラ」(<http://sabra.jp>)という雑誌がある。女性の水着写真がメインの雑誌なのだが、わずかに政治に関することも書かれている。2003年11月27日(木)に発売されたこの雑誌の70ページに、以下のようなことが書いてあった。

【江角マキコがやっている年金のCM、「将来、年金がもらえないと思っているアナタ! 誰に聞いたの? いまちゃんと納めておけば、将来絶対もらえるの!!」って、もう、初めて見たときから疑問で疑問で仕方ないのだが、なんで江角マキコに年金のことで説教をくらわなくちゃならないの?】

筆者は、このように江角マキコが、安易に年金制度の将来的な安全性を明確に保証している責任を問題にしている。20年後に年金が破綻して大問題になったとき、「わたしは仕事としてCMに出ただけ。わたしも被害者です。厚生労働省の言い分を信じただけで……」との言い訳を筆者は許さないとやっている。

ここでは、以下の有名人たちも同様に断罪されている。インチキダイエット飲料のCMに出た口ミ山田。会員からの前払い金の返金もせずに自己破産したエステdeミロードのCMに出たMAX。「泰道」という怪しげな宗教団体の広告塔となった原辰徳。足裏診断で有名になった宗教団体「法の華」の司会を行った中村江里子元アナウンサーなど。これ以外にも、私が知る限りでも、国債のCMに出ている藤原紀香やKSDのCMに出ている田中邦衛は同類の責任を問われてしかるべきだろう。

そして、最後の方で筆者はこのように言って有名人たちの「アルバイト」に対して反省をうながしている。

【江角さあ、適当な「仕事」すんなよ。】

それならば、政党は同じようなことをしないのか。否である。今回の衆院選挙でも多くの政党公認の候補者には推薦文がつけられたはずだ。「わが党が自信を持って推薦する候補者が○○○氏である」との党首の推薦文がチラシに書いてあったはずだ。これこそ、まさしく「公然の秘密」ならぬ「公然の嘘」にも等しい。もちろん候補者にとっては、党首からの推薦はとてもありがたいことであるし、嬉しいことに違いないのだが、その人物を知っていて推薦しているのならまだしも、知りもしないで推薦しているケースなどがほとんどなのだ。地方議員選挙ならば、まず間違いなく党首はその候補者のことを何も知らないで推薦しているに違いない。

かつて田中真紀子衆議院議員が、群馬県で自民党公認候補の応援演説をしたとき、「どの人が候補者なのか知りません。

名前も知らない。」などと放言したとの報道があったが、それこそ真紀子議員がバカ正直だっただけのことで、そこに嘘はなかったはずだ。

しかし、ほとんどの政党は、政治家は、知らないことを偽って応援する。または応援させられている。知らなくて応援しているならば、まだ罪も軽かろう。重罪なのは、候補者がダメだと知っているのに、応援している場合だ。

私もかつては民主党に所属していた。政党の中にいると、言いたいことも言えないことがある。つきたくない嘘もつかなければならないことがある。

しかし、今は無所属だ。言いたいことが言える立場に私はいる。では、次のような衆議院議員について、有権者はどのように判断されるだろうか。地元地方議員1人さへの推薦も無しに、なぜか公認候補となってしまう。地方議員を自分の選挙のコマとしか考えていない。選挙の応援を無理強いする。自分の選挙を応援しない地方議員には、次の選挙では公認を出さないと平気で圧力をかける。このような人物が、現在の江戸川区における衆議院議員なのだ。

私と同じ政党に所属していたという理由だけで、このような人物を有権者の皆様に対して「私が自信を持って推薦している○○○さんです。ぜひ応援してください」などとは、口が裂けても言えない。

今回、はからずも民主党所属だった古賀潤一郎議員による学歴詐称問題が明るみになった。民主党の公認候補だったのだから、民主党には自信があったに違いない。それにも関わらず、今回の問題発覚だ。公党としての責任が、今、問われている。

問題の根本は古賀氏にあるのではない。民主党の公認システムにあるのだ。古賀氏個人を除名にしたからといって、再発が防げると言うことではない。問題視されていないだけで、民主党の公認決定システムの中には、不明朗で当事者でさえよくわからないシステムが現存しているとしか思えない。

衆議院選挙を戦う民主党公認候補とは、予選なしでいきなり決勝戦を戦うようなもので、とても有利なシード権である。だからこそ、この公認決定のシステムは厳密かつ公正に行わなければならない。

古賀氏本人以上に、同じ選挙区で古賀氏を精一杯応援したであろう地元地方議員の苦悩を、まるで自分のことのように思う。組織の決定なのだから、応援したのではなく、応援させられたのかも知れない。それでも「あなたが応援しているから投票したのに、なんて人なの」と有権者から言われてしまえば、黙って頭を下げるしかないだろう。「私も被害者です」などという言葉は私と立場が同じ地方議員からは聞きたくない。

このような事件は、氷山の一角に過ぎない。ただ有権者に知られていないことが、彼らの幸福、私たちの不幸につながっていることには違いはない。

ランチ

- 日 時 **4/3**(土) 開場12時 開始12時15分
- 場 所 華だん(かだん)
〒134-0003 江戸川区春江町4-2-4 クリアイースト2F
TEL:03-5661-7868
- 会 費 3,000円

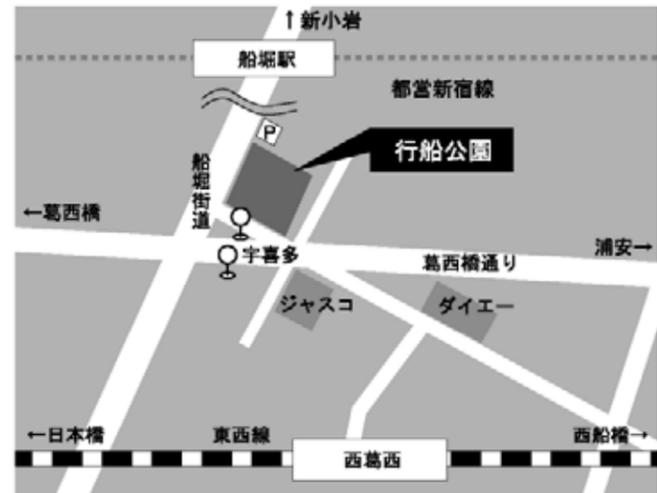


1
Event

お花見

源心庵に咲く夜桜を見ながら、お茶と高級お菓子で、お客様をおもてなし。その他、持ち込みは自由です。

- 日 時 **4/5**(月)18時～
- 場 所 行船公園・源心庵
〒134-0081 江戸川区北葛西3-2-1
TEL:03-3687-3492
- 会 費 1,000円



バス停 宇喜田・北葛西2丁目

2
Event

対話集会

- 日 時 **4/18**(日)13時～15時
- 場 所 南小岩コミュニティ会館 第一集会室
〒133-0056 江戸川区南小岩7-17-10
TEL:03-5668-2241
- 参加費 無料



JR総武線 小岩駅 徒歩5分
バス停 京成バス・都営バス 中の橋 徒歩1分

3
Event

上記のイベントの主催はすべて江戸川倶楽部 03-5662-7755 club@t-ken.jp
※参加希望の方は、事前のご連絡をよろしくお願いいたします。

2月1日(日)14時から、タワーホール船堀 303会議室において「選挙および区政報告会」を行いました。2名の参加者でした。

参加者の声 現在の区政の状況を生の声で聞く事が出来、大変勉強になった。
要望を直接申し立てる事が出来るこのような機会を、是非また開いていただきたい。



江戸川区議会議員

田中 けん

高速道路を無料にしよう!

自宅事務所 〒132-0021
江戸川区中央4-25-14
TEL/FAX:03(5662)7755
e-mail info@t-ken.jp



<http://www.t-ken.jp>

※月刊田中けんのバックナンバーは、ホームページからダウンロードしてご覧いただけます。

TANAKA Ken

【プロフィール】
1966年1月6日 江戸川区生まれ
第三松江小学校 卒業 松江第三中学校 卒業
都立墨田川高校 卒業 千葉大学教育学部 卒業
1995年4月 江戸川区議会議員選挙当選(2,789票)41位
1999年4月 江戸川区議会議員選挙当選(4,282票)16位
2001年6月 東京都議会議員選挙落選(12,394票)8位
2003年4月 江戸川区議会議員選挙当選(4,103票)15位
江戸川トライアスロン連合会長、ホームヘルパー
江戸川区議会「一人の会」幹事長